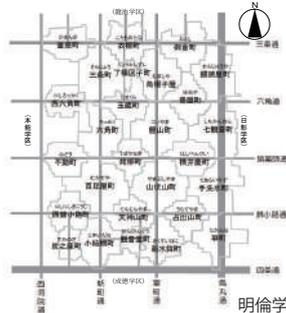


1 京都市内での位置

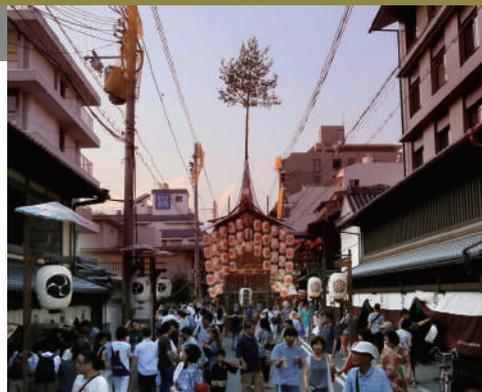


まちなか田の字地区の一角、
四条烏丸の北西部にあります

2 明倫学区全体図



明倫学区の27ヶ町



3 明倫学区の基本情報

祇園祭のまち 山・鉦を出す町内が13ヶ町あります。

呉服と繊維のまち 近世以来、和装の商いが中心でしたが、昭和30から40年代に人口が大きく減少し、かつては町家が軒を並べた室町通などもビル街となっていました。

近年の変化 大規模なマンションが増加し、人口も増えています。最近は飲食店や宿泊施設が増えており、観光客が行き交うようになりました。

和と洋、新と旧、商いと暮らしが共存したまちとなっています。

世帯数：1696世帯 人口：3077人（28年1月現在）

4 明倫学区まちづくり委員会の概要

● 沿革

- ▷ 平成12年（2000年）
まちづくり部会発足
- ▷ 平成14年（2002年）
まちづくり委員会として明倫自治連合会の一部会となる
- ▷ 平成15年（2003年）
地区計画づくりスタート
- ▷ 平成16年（2004年）
地区計画のための意義とスケジュールの作成
- ▷ 平成18年（2006年）
京都市に地区計画の方針の要望書提出
- ▷ 平成19年（2007年）
明倫学区「まちづくりの目標と方針」決定
- ▷ 平成21年（2009年）
明倫地区整備計画スタート
- ▷ 平成25年（2013年）
景観デザイン協議会設立準備
- ▷ 平成26年（2014年）
景観協議会設立申請認定
- ▷ 平成27年（2015年）
明倫学区景観協議会発足（6月1日）

5 明倫学区にふさわしい景観

● 町家も近代建築も調和する町並みへ

(1) 祇園祭を受け継ぐ風格のあるまちであるために

ハレの日に幔幕や提灯など、祭にふさわしいしつらえをお願いしています。



幔幕のしつらえ



提灯建て

(2) 商いと暮らしが響き合うまちであるために

① 周囲と調和し、景観に配慮した計画を推進しています。

- ・ 町家を中心とした町並みにあうような落ち着いたもの
に：外観の色彩、材質、質感
- ・ かつての整然とした町並みのように：壁面、軒の連続性



町並み



路地

② 暮らしのルールを守っていただくようお願いしています。

- ・ 駐輪場や駐車スペースの設置と景観にふさわしい整備
- ・ 排気ダクト、室外機の目隠し

6 望ましい改修事例

○(1) 町家の本質、隣接関係をそこなわない改修



町家は連続していましたが…

本来のシンプルな外観に



庭先がよみがえり、緑と光あふれる豊かな内部空間を取り戻しました

○(2) すっきりした現代建築



壁面の連続を意識

- ・ シンプルな外観で町並みに調和
- ・ 木部が表れていることにより、落ち着いた雰囲気
- ・ 縦格子のイメージ

○(3) 町並みの連続性



門扉により連続性をもたせました

6 協議会を経た改修事例

○(1) 町家の改修



ビフォー



アフター



祇園祭には幔幕のしつらえも

○(2) 飲食店の改修



ビフォー



色や材質の変更をお願いして、モダンで、よりよい印象に

